Ⅰ　学校経営について

学校教育目標

ふるさとを愛し、共に学び　鍛え　高め合う　綾上っ子の育成

めざす子ども像

あかるい子　やさしい子　かんがえる子　みがきあう子

研究主題

様々な事象を自分事として捉え、
話し合いを通してよりよい未来を考える子どもの育成

重　点　的　な　取　組

学びづくり	心づくり	体づくり
◎個別最適・協働的な学びの研究 ◦話し合い活動の活性化 ◦自分ごととして協働的に学ぶ 〇図書活動の充実 ◦読書習慣の定着、電子図書の活用 〇社会に開かれた教育課程の推進 ◦地域教材の開発、連続した問いの追究 〇ＩＣＴの活用・充実 ◦GIGA タイムの運用､授業での活用研究	◎ともに認め支え合う集団づくり ◦異学年によるペア・きずな活動 ◎自尊感情、人権感覚の育成 ◦アンケート､ホットラインの活用 ◦豊かな心を育む道徳科の充実 **〇児童主体の学級・学校文化づくり** ◦児童会・ボランティア活動の活性化 ◦挨拶・返事・言葉遣い・廊下歩行 ◦外遊び・黙目清掃の推進	◎運動習慣の確立 ◦跳躍力・投げる力・走力の向上 ◦外遊びの奨励（環境調整・共に） 〇生活習慣・食習慣の定着 ◦メディアコントロールデー ◦給食を生きた教材として活用 〇危機意識を高める学校安全 ◦避難訓練、着衣泳等の取組継続

地域・家庭・学校の連携・協働

○　地域に開かれた教育課程の推進
○　こども園、中学校との滑らかな連携
○　学校運営協議会・地域学校協働活動の推進
○　交通安全・防犯・防災等、安心・安全の強化

働き方改革：“ 量は減らしても質は落とさない ”

〇業務の効率化・適正化　　〇教職員の意識改革　　〇保護者・地域との連携

綾上小学校の教職員　～受容と要求～

○　子どもの心に寄り添って（背景をみる）
○　子どものために全力で（挑戦する）
○　笑顔を基本に、さわやかな振る舞いを
○　子どもや保護者、教職員間の関係は、「相手軸」を基本に
○　全職員一人ひとりが「学校の顔」であるという意識をもって